

令和7年度生活習慣病検診等管理指導懇話会
乳がん部会

兵庫県のがん対策について

令和7年11月13日(木)

兵庫県保健医療部疾病対策課

第6次兵庫県がん対策推進計画(概要) 令和6年度～11年度(6年間)

全体目標

- がんによる罹患者・死亡者の減少の実現(罹患率:全国10位以内、死亡率:全国より5%以上低い)
- 新**がん患者一人ひとりに寄り添い、誰一人取り残さない兵庫の実現

1 がん予防の推進

- ア 生活習慣改善の推進
- イ たばこ対策の充実
- ウ 感染症に起因するがん対策の推進

2 早期発見の推進

- (1) がん検診機会の確保と受診促進支援
 - ア 市町の取組支援
 - イ 企業・職域との連携
 - ウ がん検診受診促進のための普及啓発
- (2) 適切ながん検診の実施
 - ア 事業評価・精度管理の実施
 - イ がん検診従事者の専門性の向上
 - ウ 新たながん検診等への対応

3 医療体制の充実

- (1) 個別がん対策の推進
 - ア 小児がん、AYA世代のがん対策
 - イ 高齢者のがん対策
 - ウ 肝がん対策
 - エ 石綿関連がん対策
- (2) 医療提供体制等
 - ア 拠点病院等におけるチーム医療体制の整備
 - イ 医療連携体制の構築
 - ウ がんの専門的な知識・技能を有する医療従事者の育成・配置
 - エ 情報の収集提供と治験・臨床研究の推進
- (3) がん患者の療養生活の質の維持向上
 - ア がんと診断された時からの緩和ケア等の推進
 - イ 在宅医療・介護サービス提供体制の充実

4 がん患者が安心して暮らせる社会の実現

- (1) がん患者への支援の充実
 - ア 相談支援体制の充実
 - イ 就労支援体制の充実
 - ウ **新**アピアランスケア
 - エ **新**がん患者やその家族の自殺対策
- (2) がん患者を支える社会の構築
 - ア がん教育及びがんに関する知識の普及啓発
 - イ 全国がん登録の推進

5 がん対策を総合的かつ計画的に推進するための事項

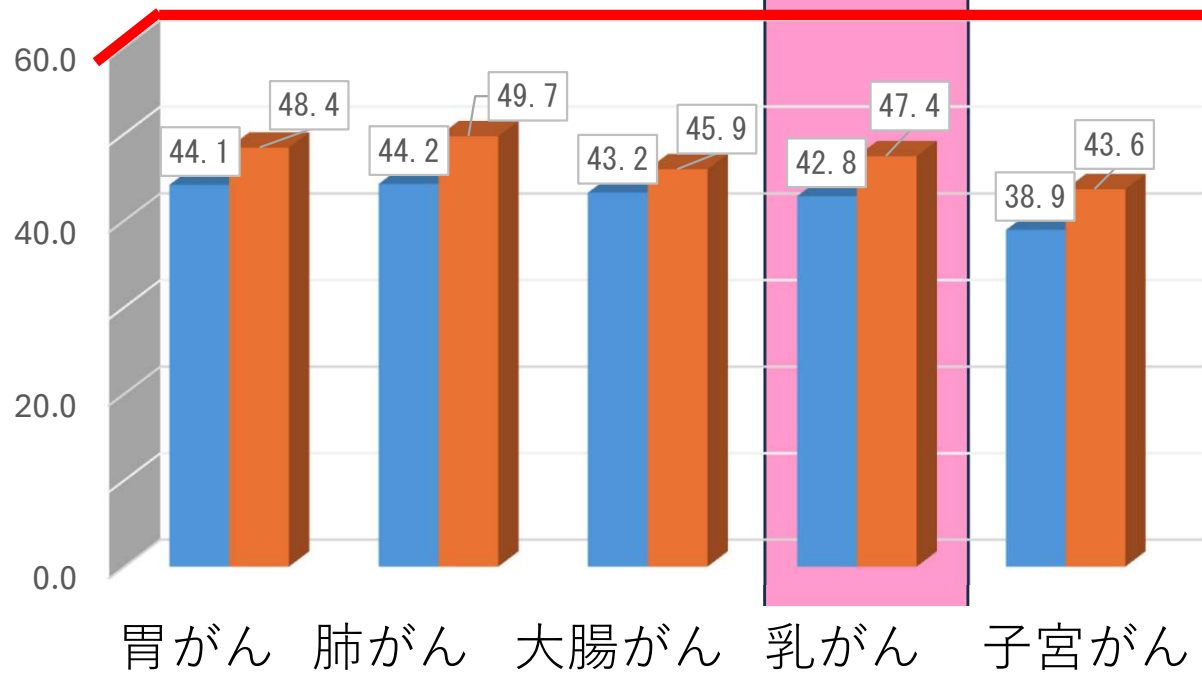
- (1) 関係者等の意見の把握と反映
- (2) **新**感染症発生・まん延時や災害等を見据えた対策
- (3) 必要な財政措置の実施と予算の効率化・重点化
- (4) 目標の達成状況の把握及び効果に関する評価
- (5) 本計画の見直し

第6次兵庫県がん対策推進計画（改定の視点）

項目	現状・課題	対応
がん予防の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○運動や栄養に関する目標値は未達成 ○生活習慣の改善に向けた取組が必要 	適度な運動やバランスのより食生活等を推進
早期発見の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○がん検診受診率は増加傾向 ○一部のがん種で目標値を達成 (男性の胃がん:50.2%(R4)) ○国計画で目標値を引き上げ(50%→60%) 	がん検診受診率の目標値 50%→60%
患者やその家族に寄り添った取組の推進	<ul style="list-style-type: none"> ○治療をしながら社会生活を送る患者が増加 ○患者やその家族の療養生活の質を向上させる必要性が高まってきている 	「アピアランスケア」や「患者やその家族の自殺対策」を新たに項目として記載
感染症発生時等を見据えた対策	<ul style="list-style-type: none"> ○第5次県計画に、感染症発生・まん延時や災害時等を見据えた対策に関する記述がない ○国計画で新たに明記 	感染症発生時や災害時等の状況下においても、必要ながん医療が提供できるよう平時からの取組を推進
ロジックモデルの作成	<ul style="list-style-type: none"> ○がん施策の進捗管理や評価するにあたり有効 ○国計画で新たに作成 	111の指標を設定 (内、県独自指標16)

がん検診・精密検査受診率

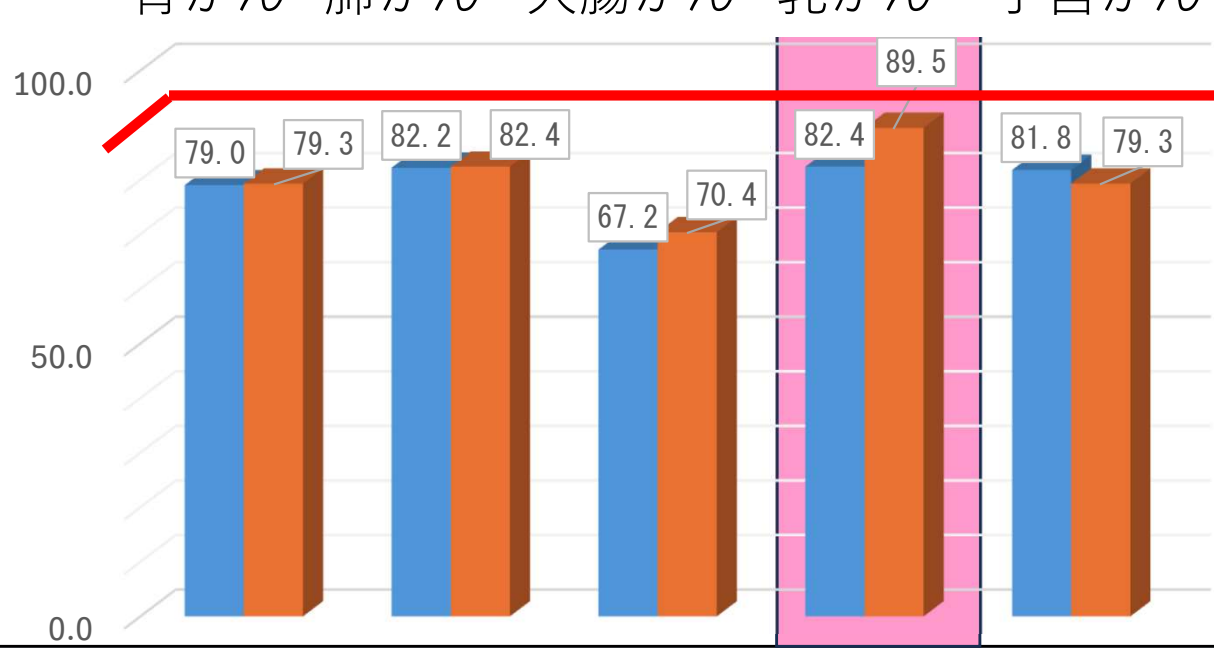
がん検診受診率



目標値
(60%)

■ 兵庫県
■ 全国

精密検査受診率



目標値
(90%)

■ 兵庫県
■ 全国

がん検診受診率（全国順位）

	胃がん	肺がん	大腸がん	乳がん	子宮がん
37位			兵庫県		
39位				兵庫県	
41位					兵庫県
43位	山口県	兵庫県	京都府	奈良県	和歌山県
44位	京都府	奈良県	長崎県	長崎県	島根県
45位	兵庫県	大阪府	沖縄県	和歌山県	埼玉県
46位	大阪府	京都府	山口県	北海道	北海道
47位	北海道	北海道	北海道	山口県	山口県

兵庫県におけるがん検診精度管理評価の 今後の方針について

背景

本県においては、「今後の我が国におけるがん検診事業評価の在り方報告書」（平成20年3月）で示されたプロセス指標の許容値、目標値を基に市町におけるがん検診の精度管理を支援してきたが、令和5年6月に「がん検診事業のあり方について」においてプロセス指標の新たな基準値が示され、「がん予防重点健康教育及びがん検診実施のための指針」が改正された。伴って本県においても、改正後の新たな基準値に基づき精度管理評価を実施していく。

主な変更点

- ・ 【指標項目】
→ 「未把握率」「未受診率」を削除
- ・ 【指標項目における設定値】
→ 全ての指標において「許容値」「目標値」が廃止され「基準値」に統一
- ・ 【対象年齢】
→ 各がん共通で40～74歳（子宮頸がんのみ20～74歳）であったが、胃がんは
下限50歳～となり、各がん共通で従来の上限74歳に加え、上限69歳の区分
が追加。

兵庫県における各がん検診プロセス指標一覧

改正前

がん種別		要精検率	要精検受診率	精検未把握率	精検未受診率	がん発見率	陽性反応的中度
胃がん (40～74歳)	目標値	-	90.0%以上	5.0%以下	5.0%以下	-	-
	許容値	11.0%以下	70.0%以上	10.0%以下	20.0%以下	0.11%以上	1.00%以上
大腸がん (40～74歳)	目標値	-	90.0%以上	5.0%以下	5.0%以下	-	-
	許容値	7.0%以下	70.0%以上	10.0%以下	20.0%以下	0.13%以上	1.90%以上
肺がん (40～74歳)	目標値	-	90.0%以上	5.0%以下	5.0%以下	-	-
	許容値	3.0%以下	70.0%以上	10.0%以下	20.0%以下	0.03%以上	1.30%以上
子宮頸がん (20～74歳)	目標値	-	90.0%以上	5.0%以下	5.0%以下	-	-
	許容値	1.4%以下	70.0%以上	10.0%以下	20.0%以下	0.05%以上	4.00%以上
乳がん (40～74歳)	目標値	-	90.0%以上	5.0%以下	5.0%以下	-	-
	許容値	11.0%以下	80.0%以上	10.0%以下	10.0%以下	0.23%以上	2.50%以上

改正後

がん種別		要精検率	要精検受診率	精検未把握率	精検未受診率	がん発見率	陽性反応的中度
胃がん (X線) (50～69歳)	基準値	7.0%以下	90.0%以上			0.08%以上	1.1%以上
胃がん (内視鏡) (50～69歳)	基準値	7.1%以下	90.0%以上			0.13%以上	1.9%以上
大腸がん (40～69歳)	基準値	6.2%以下	90.0%以上			0.16%以上	2.6%以上
肺がん (40～69歳)	基準値	2.0%以下	90.0%以上			0.03%以上	1.6%以上
子宮頸がん (20～69歳)	基準値	2.7%以下	90.0%以上			0.16%以上	5.9%以上
乳がん (40～69歳)	基準値	6.8%以下	90.0%以上			0.29%以上	4.3%以上